

てしお

第 132 号
平成 23 年 1 月

議会だより

平成 23 年天塩町消防団出初式・登梯（1 月 5 日撮影）

目次

○第 8 回町議会定例会、補正予算質疑ほか	2 頁
○一般質問（4 氏 6 件）	
・石山議員 「猛毒型鳥インフルエンザの周知」	4 頁
・川端議員 「災害時の避難場所の電気・暖房」	4 頁
・遠藤議員 「子宮頸がん等予防接種」ほか 2 件	5 頁
・渡辺議員 「災害時の情報伝達」	8 頁
○所管事務調査報告など	9 頁
○議会日誌・編集後記など	10 頁

第8回天塩町議会定例会

千円、その他88万8千円である。
前段でお話すべきことであり反省
している。

渡辺議員
財政健全化計画中であり少し待つ
ことはできなかつたのか。検討委
員会で協議されたのか。

12月定例会は12月14日から2日間開かれ、

4氏6件の一般質問のあと、一般会計補正予算など4件、財産の取得、教育委員の同意などを審議し、原案のとおり可決しました。

各会計 補正予算

一般会計

22年度一般会計補正予算(第3号)は、1億4千881万7千円を

追加し、総額を44億6千920万9千円としました。

企画商工課長

川端議員
チューーチュープリン事業拡大のための施設改修なのか。

そのとおりである。

【乳牛共進会補助金】

遠藤議員

開基130年の冠がついたこの事業を全額減額したが、酪農振興の観点から他の事業をする考えはなかつたのか。

町長

8月に災害が起き、協議をする時間がなかつた。酪農地帯として前向きに努力していく必要があると考えている。

【林業研修センター経費】

菊地議員

502万円の内容は何か。なぜ予算計上の前に説明できなかつたのか。

企画商工課長
修繕費としてジャグジー風呂129万7千円、循環器温泉ポンプ283万7千円

【湖沼の漁場改善・覆砂事業】

遠藤議員

将来的なシジミ資源の考え方。

町長
近年特に資源量が減り今は130トンである。町の一番の宝物を後世に伝えていくためにも、環境を守つていく姿勢が必要である。

遠藤議員

覆砂事業は最後の手段として導入されているが、天塩町の水産資源を子々孫々に残していくため、年次計画を立て進めていくべきだ。

町長

シジミ資源の重要さを、住民共通の認識として捉えていくべき必要がある。今後もかかる事業・経費等について格別な理解を賜りたい。

【町民保養センター管理経費】

菊地議員

災害対策費で33万2千円の内容は。

住民課長
災害対策本部で壁に掛けたり、テ

ーブルの上に置いたりして使う地図の作成である。

町長
検討していきたい。

【災害の総まとめ】

遠藤議員

災害状況をしつかり記録し、管理していく必要があるので。

町長

全体がまとまつた段階で議会、住

民に報告したい。

遠藤議員

水洗便器が使えないという問題も
でてきた。今後、避難場所に自噴
ポンプ等の設置を検討すべきでは。

町長

管理上の問題が出てくると思うが
検討してみたい。

一般会計補正予算の内容

歳入	(単位:千円)
町税	13,000
地方交付税(普通交付税)	114,315
林道災害復旧事業負担金	21,900
畜産担い手総合整備事業分担金	△2,185
財政調整基金繰入金	△69,000
町債(林道災害復旧)	17,600
町債(その他)	52,145
その他収入	1,042
計	148,817

歳出

職員給与費等	△7,720
水道事業特別会計繰出金	17,333
病院事業特別会計繰出金	1,510
乳牛共進会補助金	△324
畜産担い手総合整備事業負担金	△4,825
林業研修センター管理経費	1,767
湖沼の漁場改善推進事業補助金	9,567
町民保養センター管理経費	5,020
天塩港湾建設事業	30,300
災害対策費	332
大雨災害復旧費	46,082
林道災害復旧事業	43,994
予備費その他	5,781
計	148,817

【林道災害復旧費】

遠藤議員

事業内容と、地方債1千760万円の

交付税措置はあるのか。

経済課長
申請は8か所で、被災延長275メー
トルである。

総務課長
地方交付税が1億1千万円増えた。
それに伴い財政調整基金の最終的
な繰入金額の見込みは。

遠藤議員
交付税措置は、元利償還金の95パ
ーセントである。

【地方交付税と財政調整基金】

遠藤議員

地方交付税が1億1千万円増えた。

それに伴い財政調整基金の最終的
な繰入金額の見込みは。

遠藤議員
【国民健康保険】
1千803万6千円を追加し、総額を
5億2千268万1千円としました。

【質疑・国民健康保険税】

遠藤議員
徴収率を上げるのは大変なのは分
かるが何か対策は。

町長

滞納額で一番ウエイトを占めている
のは保険税である。未納のまま

生活保護や亡くなる方、破産、転
出後に連絡が取れなくなるといつ

たいいろんな事例がある。これに対
し転出先まで出向くとか、働いて

いる会社に説明し分割納付をする

など積極的に納税を働きかけてい

る。財産を差押えても、処分でき
るかの問題もある。内部では相
談をしており、できる限り歩き

納めてもらう努力をしていきたい。

○ 職員の給与に関する条例
月例給は月平均で0・19%を減
額、期末・勤勉手当は0月分減額
し年3・95月としました。
○ 特別職の給与、議員の報酬
期末手当の額を6月分減額し、
年3・85月としました。
○ 施行日
23年4月1日

○ 政府のEPA基本方針策定に
関する意見書

関税撤廃を原則とするTPPへの
参加は、北海道農業をはじめ地
域経済・社会に壊滅的な影響を与
えることから、断じて行わないこ
と。

○ 水道事業特別会計
1千397万円を追加し、総額を2億
9千876万5千円としました。
○ 国民健康保険病院事業会計
資本的収入及び支出の予定額を151
万円追加し、7千406万4千円とし
ました。

農業・農村の多面的機能の発揮
や食料安全保障の確保を図るなど、
日本提案の実現というこれまでの
基本方針を堅持すること。
包括的経済連携協定においては、
「食料・農業・農村基本計画」に
基づく方針を貫くこと。

第7回町議会

臨時会

11月24日

石山直継議員

猛毒型鳥インフルエンザ の町民への周知は

町長 今後、周知をしていきます



石山直継議員

本町では、留萌保健所天塩支所など情報交換を行うとともに、町閲係課においての連絡協議により、情報共有し状況を注視しています。町民等への対応や指導については、町内に家きん飼養者・施設がないため特別な対応は行っていません。

趣味で鶏を飼っている人もいる。回覧板等で周知をしたのか。万一の対策として、会議等は持つべきではなかつたのか。

幼児、小学校低学年についての指導・注意はどのように行つたのか。

通知では百羽以上の家きん農家がある場合、対策が必要ということです。

ので特に情報提供はしませんでした

たと判断し、情報収集を進め、事態を見極めたいと考えています。

幼児への予防対策は、留萌保健所
天塩支所と打ち合わせし、保育所で
は毎朝のお茶を使つたうがい、手洗

ているのか。また、現時点での停電した場合、照明、暖房等はどうなるのか。災害はいつの季節に発生するかわからぬことを考慮すると、恵愛荘避難場所、特に災害対策本部となる

非常発電装置（設備等の状況・別表）について、北海道電力に電話で確認したところ、「昔と比べ送電設備は改良されており、長時間の停電は少ないものと考えられる」との回答があり、恵愛荘については、長時間の停電時に発電装置を借用できることになっています。

役場庁舎の電源確保は不可欠である

川端英嗣議員

災害時の発電装置等の設備は万全か

小規模でも発電機の手配をしていきたい



惠愛莊

いの実施、また、鳥など動物の死骸を触らない等の指導をし、このことは家庭でも実施するよう、保育所により掲載し周知を図っています。

いますが、十分な警戒の念をもつてあたっています。町民にはどういう処置をしたらいいか、周知していくたいと思います。



川端 英嗣 議員

(別表)
停電時の照明・暖房の状況

役 場	照 明	暖 房
役 場	発電機3台 バッテリー	無
町立病院	発電機 バッテリー	発電機
消防支署	発電機	発電機
恵愛荘	小型発電機 バッテリー	石油ストーブで対応
各小中学校	対応なし	対応なし

内会との協力のもと考えなければなりません。今後は町内会に、自主防災組織の設置を考えています。

質問

地震等の大規模災害の場合どうするのか。役場の緊急用バッテリーは、照明に30分、パソコン等は1時間しかもたないそうだ。小規模の発電機で対応できるのか。

恵愛荘は誘導灯、非常灯で約30分、水洗トイレ、暖房は使用できなくなる。恵愛荘はポット型ストーブで対応というが、何十台必要になるのか。

遠藤 功 議員

子宮頸がん等予防接種助成を永続的に

町 財政の許す限り 長 最善を尽くしたい



遠藤 功 議員

3月定例会の一般質問で、ヒブワクチン予防接種と子宮頸がん予防ワクチン投与等の助成を22年度中に取り上げるということだったが、どんな支援制度を導入する考えなのか。

人工透析患者は透析のため、羽幌や稚内に一日がかりで週3回通院し、体力・経済的に負担が大きな状況である。本町の透析患者に対する支援

質問のとおり、町内の発電設備は非常に不備であり、道北一体で大被害が生じたときや、冬期間の場合には、ほとんど対応できないと思いま

(別表)
非常用発電設備の状況

町立病院	有
消防支署	有
恵愛荘	無
役場	無
各小中学校	無
避難場所	無

す。そのとき、暖房はポット式で対応するしかありませんし、小規模でも発電機がある程度手配しなければならないと考えています。

質問

天塩小学校が改築された場合に当然、避難場所に指定されるものと思われるが、非常発電設備、シャワー等の設置が必要だと考えるが。

新しく建てようとしている小学校は、避難場所になると考えていましたが、今ここで発電機を付けますとは言えませんのでご理解ください。

3月定例会の一般質問で、ヒブワクチン予防接種と子宮頸がん予防ワクチン投与等の助成を22年度中に取り上げるということだったが、どんな支援制度を導入する考えなのか。

人工透析患者は透析のため、羽幌や稚内に一日がかりで週3回通院し、体力・経済的に負担が大きな状況である。本町の透析患者に対する支援

制度は、交通費の一部負担として、近隣町と比較し、相当少ない額を給しているのが実態である。これまで見直し等はされてきたのか。

町長

本町でもワクチン接種費用の助成を検討してきたところ、本年11月26日に国の補正予算が成立し「子宮頸がん」「細菌性髄膜炎インフルエンザ菌b型(ヒブ)」「小児用肺炎球菌」の予防接種に対し費用を助成することになりました。

副町長

国補助対象は、子宮頸がんは13歳から16歳、ヒブと小児用肺炎球菌は0歳から4歳で、期間は22年度と23年度の2か年となっています。詳細が決定次第説明会を開催し、自己負担がないよう実施する予定です。

通院で人工透析治療を受けている方は、市立稚内病院3名、道立羽幌病院1名です。交通費助成は、道が実施する「腎臓機能障害者通院交通費補助要綱」により実施しており、医療機関までの距離、前年所得等により補助率が設定され算定されます。

本町としては、現行の外出支援サービスの利用により負担軽減ができるいか、社会福祉協議会と協議し、午前中の運行ではありますが、JR幌延駅までの送致を検討しています。

近隣市町村の状況も含め、更に調査・検討したいと考えています。

質問

ワクチン接種助成は今年度からとされているが、将来的に継続されなければならぬ措置である。町の総合振興計画書にしっかりと位置付けすべきではないか。

また公共施設において、子宮頸がんの発症リスクを3.4倍に増加させる受動喫煙対策を徹底すべではなく、幌延町は年間6万5千円。天塩町年間3千円。豊富町月1万円。猿払村は1万円。遠別町は月額8千円という状況だ。透析は1日かかりであり、午前中しか利用できない外出支援サービスでは片肺運行で使えない。患者本人の立場に立つて、交通費の助成の検討をすべきだ。

町長

ワクチン接種は、1回始めるに次から有料にしにくいものです。町としては財政の許す限り最善を尽くす考えです。総合振興計画に載せるとすれば、個人負担が一番焦点になってしまいますので、もう少し時間をいただきたいと思います。

受動喫煙対策は難しいものがありますが、法律に従つて進めなければならぬと思います。

人口透析を町立病院でできないか、今まで検討を進めてきましたが、今の医者の体制では責任をもてないという状況から取組んでいません。

過去に、透析のため天塩町から家族

ごと引き上げた方々もあり、特に冬期間の通院は、一番危惧しているところです。今後、協議をしながら前向きに検討させていただきます。

遠藤 功 議員

酪農振興公社の経営体质を強化すべき

町長

見直しを検討します

質問

指定管理者の選定は11名の委員が

で必要な措置と考えるがどうか。

酪農振興公社への指定管理は、平成20年4月から3年間としているが、各年度の決算状況はどう推移し、次期の管理運営方法等は、いつ明らかにされるのか。

酪農業の基盤強化のため、酪農振興公社の経営体质強化が最も重要な課題と考えるが、具体的な方策は。

町長

選定委員会は副町長をはじめ役場職員が6名、学識経験者が5名で構成しています。このことが指定管理者の選定が不透明で疑惑が生ずるという点で、現在の委員の任期満了までに委員構成の見直しを検討したいと考えています。

選定評価の結果の公表は、次期開催の選定委員会から前向きに検討したいと考えています。

(酪農振興公社の指定管理事業の決算状況等・別表)

収入面では増頭增收となり、支出面では経費節減が堅持され、良い方向に推移してきています。

次期の管理運営方法等は今、精査中であり、1月開催予定の選定委員会で明らかになると考えていました。

天塩酪農は後継者不足・過重労働の問題から、労働時間と費用等の軽減化が求められており、育成牛の通年預託、TMR、コントラ事業等の充実が必要と考えられます。そのことから公社がコントラ、酪農ヘル

で必要な措置と考えるがどうか。

酪農振興公社への指定管理は、平成20年4月から3年間としているが、各年度の決算状況はどう推移し、次期の管理運営方法等は、いつ明らかにされるのか。

酪農業の基盤強化のため、酪農振興公社の経営体质強化が最も重要な課題と考えるが、具体的な方策は。

選定委員会は副町長をはじめ役場職員が6名、学識経験者が5名で構成しています。このことが指定管理者の選定が不透明で疑惑が生ずるという点で、現在の委員の任期満了までに委員構成の見直しを検討したいと考えています。

選定評価の結果の公表は、次期開催の選定委員会から前向きに検討したいと考えています。

(酪農振興公社の指定管理事業の決算状況等・別表)

収入面では増頭增收となり、支出面では経費節減が堅持され、良い方向に推移してきています。

次期の管理運営方法等は今、精査中であり、1月開催予定の選定委員会で明らかになると考えていました。

天塩酪農は後継者不足・過重労働の問題から、労働時間と費用等の軽減化が求められており、育成牛の通年預託、TMR、コントラ事業等の充実が必要と考えられます。そのことから公社がコントラ、酪農ヘル

TMRは一部で建設業が入つていて研修の窓口を担つてはどうか。

天塩町に一番合った形を模索していると考えてもらつた方がいい

酪農振興公社の決算状況 (指定管理分) (単位: 日、円)

		20年度	21年度	22年度(見込)
入牧頭数		883	921	1,035
入牧延日数		121,013	121,712	148,591
収入	入牧料金他	28,419,965	30,831,983	35,425,000
	指定管理料	23,960,000	21,232,000	18,338,000
	計	52,379,965	52,063,983	53,763,000
経費総額		51,735,777	50,365,017	50,674,000
差 引		644,188	1,698,966	3,089,000

いとと思いますので、そういう意味でご理解いただきたいと思います。

将来的に公社が研修の場として有効であれば関係者と協議し、あるべき姿を追つていきたいと思います。

中心市街地を再生させまちなかに元気を

遠藤 功 議員

中心市街地を再生させ まちなかに元気を

町長 国や道の制度を利用 し努力していきます

口の増加による経済進展につながつていくことが期待される。

今この時に、町は行政の責務としてドーナツ現象によって空洞化した中心市街地を甦らせるため、ダウンサイジングによる地域再生計画の策定をし、希望のもてる元気な町づくりに取組むべきと考えるが、町長の所信はいかがか。

合わせて、市街地の空き地に対する考え方、総合振興計画の見直しをどのように検討していくのか伺いたい。

町長

本町は、小規模事業者の振興と安定のため、商工会に対する経営改善普及やハローシール事業、自衛隊タクシー助成、プレミアム商品券事業、国などからの100%補助事業を活用した全国展開プロジェクト事業など、地域活性化の取組みを行っています。

更に緊急雇用対策事業で、冬の遊び場魅力アップ事業などを通じ、地域住民の商店街への集客と冬の観光客の誘致拡大に取組んでいますが、かつての中心市街地の賑わいの再生には至っていないのが現状です。



旧駅前通

質問

旧駅前通は、昭和62年の国鉄羽幌線廃止により、通学生等の人通りはなくなり、更には定住人口の核家族化の進行から、住宅地は南北に移動するなどの影響や、人口減少もあって往時の賑わいは時代の流れとともに大きく変化消失した。近年、天塩農協の改築や北海道銀行の移転改築が具体化され、これを契機に流入人

道銀の建替え、農協の建替えは、一つの町の変化、大きな一つの筋目

町長

道銀の建替え、農協の建替えは、一つの町の変化、大きな一つの筋目

将来展望があるから、その一環として道銀の改築要請をしたのではないか。ダウンサイジングによるまちづくり、未来に引き継いでいくべき計画作りは、総合振興計画のローリングによる修正見直しだけの問題ではなく、重要な課題と考える。

将来展望があるから、その一環として道銀の改築要請をしたのではないか。ダウンサイジングによるまちづくり、未来に引き継いでいくべき計画作りは、総合振興計画のローリングによる修正見直しだけの問題ではなく、重要な課題と考える。

質問

になると思っています。

衰退した町の中の賑わいを取り戻すには、ドーナツ現象によつて、縁側に行つた人達を元の姿に戻すことができる。住む人達が集まれば、利便性が高まり商工業の潤いもある。開基131年から向こう10年間でも20年でも将来の天塩について、もう一度きちんと腰を入れて作るべきだ。

質問

天塩町の潜在する素晴らしい人材の知恵を借りながら、総合振興計画にどう反映していくのか、取組すべき課題だと思います。

基本的には、財政の動きをしっかりと見極め、少しでも国や道の有利な条件のものを取り入れながら、賑わいの再生にむけて努力していきた

事なことであり、民間の活力を利用して、中心市街地の発展を図るためにどんな策が必要なのか、真剣に取組んでいかなければなりません。振興計画ではいろんなことを考えていま

渡辺修勝議員

災害時での早く正確な情報の伝達を

町長 教訓をもとに体制の強化に努めます

が届きにくい、農村部へは農協を通じてファックス等で配信しているが、情報の正確性、早さ、公平性において、満足のできるものだつたのか。

1点目。今回の災害は短期間であらゆる処理が求められたため、連絡の不徹底や情報収集体制の不備など、マニュアル通りの機能は十分には果たせていなかつたと反省しています。

2点目、平成20年度に民生委員会が「一人暮らし高齢者等実態調査」を全町的に実施し、また引年度こは、天塩町内、稚内市

質問

実際に災害が起きてしまった時の初期段階での対策について4点伺う。

1点目 今年8月14日未明の大雨の時、対策本部の機能は十分に果たせたのか。
2点目、避難に手助けが必要な高齢者等の把握と、救助の体制は確立されているのか。

3点目、避難場所は防災ガイドブック等で指定してあるが、災害の規模、種類によつて異なつてくる。どのように広報するのか。



渡辺修勝議員

であると考えていきます。

4点目、情報の伝達は、防災無線の聞きづらさや情報の遅さ等の指摘があり、ホームページへ災害情報の掲載と携帯電話によるメール配信や広報車、電話・アクセス体制を強化していきたいと考えています。

対策本部長の姿を災害現場でお見受けしたが、本部長が対策本部を離れてしまうと、総体の現況を的確に捉えて判断する人がいなくなる。今

情報の伝達方法としては、特に農協雄信内支所はファックスが1台しかなく、全農家に届くまでに数時間かかる。農協とシミュレーションが行われているのか。

A black and white photograph capturing a group of approximately eight individuals in a rural setting. The scene is dominated by a vast expanse of driftwood and debris scattered across a sandy ground. On the left, a man in a dark jacket and light-colored trousers walks away from the camera. Next to him, a woman in a light-colored coat and dark trousers stands with her hands on her hips, looking towards the center of the clearing. Further back, two more figures are visible: a person in a light coat and another in a dark coat. To the right, a man in a dark jacket and light trousers stands near a large pile of debris. In the far distance, a dense forest covers a hillside, and the sky above is overcast.

8月14日未明に起きた大雨災害

副町長

農協ともアグリによる伝達は緊急時の場合にはすぐに送つてもらえるよう考えていかなければならないと思います。

災害

災害対策本部が設置されたあと、徐々に入ってくる情報では現地の状況がわからないと考え走りました。今回は教訓として、一つ一つ洗い直す決意をしています。

家畜の水については、農協等とも徹底的に打ち合わせをしていきたい

農地整備の町と農協の負担割合は激甚災害になつた場合に負担率が変わりますので、2月まで待つて検討していきたいと考えています。

断水が長期化するとき、家畜の水をどう対応するのか。

8

○ T M R センターの運営状況

とき 平成22年10月19日
ところ 新得町農協T M Rセンター

【設立の目的】

酪農経営の規模拡大に伴う過重労働の課題
解消する仕組みづくりが求められ「営農と生活のゆとりと安心の創出」を実現するため、農協の酪農支援システム（コントラクター、育成牧場）の一つとして設立。全51戸に説明後14戸が賛同、(有)ディリーサポート士別の方針を参考。

【計画目標】

- ・14戸（個人経営）、493ha（コーン243ha、牧草250ha）、搾乳牛1,351頭（1万kg/頭）。
- ・乳量37kg/日で粗飼料8円+濃厚飼料8円+利用料4円=20円/kgを設定し1頭50kg/day×20円/kg=1千円/日の飼料代を目指す。
- ・飼料の種類は、搾乳用35kg/day、搾乳用40kg/day、育成乾乳前期、乾乳後期の4種類で24,412トン(67トン/day)。
- ・飼料畑は農協コントラによる栽培・収穫→農協T M Rセンターが牧草・コーンの貯蔵、T M Rの混合梱包、配送作業受託。

草地更新は5年を義務化。

【現況】

- ・支出：T M R平均利用料600~700万円、コントラ平均利用料900万円~1,000万円

- ② 地域雇用創造実現事業
- 地域雇用創出協議会が厚生労働省から補助を受け、平成19年度から21年度まで実施した地域雇用創造事業（パッケージ事業）による支援を通じて育成した人材等を活用し、波及的に地域の雇用機会を増大させる効果が見込まれる事業を支援するため、23年3月までの3か年間で行われている。
- (1) 地域ブランド商品を開発し販路開拓
 - (2) 着地型旅行商品や観光キャンペーン
 - (3) 企業間・産業間の連携を促進
 - T M R の方向性

○ 病院運営の指定管理

とき 平成22年10月18日
ところ 池田町役場

道内先進地行政視察
と
池田町の取組み

現病院の病床数は80床であったが、国の方針もあり療養病床48床を廃止し、一般病床60床と20床の小規模老健施設の併設型とすることになった。

指定管理期間は来年10月からの10年間とし、23年度は1億1千万円、24年度以降は2億円の債務負担を取つた。現在いる医師・看護師などの職員の身分が地域医療振興協会に換ることか

活動報告

道内先進地行政視察は平成22年10月18日から3日間、総務文教常任委員会の所管事務調査は10月27日に行われ、今定例会に報告されました。

り、役場内で検討会議を立ち上げ検討し、入院、救急、その後の終末期など要素が町立病院に必要だという結論に至り建替えることとなつた。地域医療振興協会に指定管理の可能性を持ちながら調査を委託し、指定管理を受けてもらうことになった。

Q 地域医療振興協会と指定管理者協定の締結にあたり苦労した点は。
A 病院改築基本計画の議決（平成21年6月）から仮協定締結（同年7月）までの協定書の協定内容をまとめる時間がなかつた。

ら、希望者には退職金の上積みなどの手続きを進めている。

【質問と回答】

- Q 制度移行後、医師と看護師確保も指定管理者にお願いするのか。
A そういうことになるが、町としては、指定管理者に一方的に丸投げにするのではなく、積極的に関わっていくことにしている。

- Q 移行後、現在の職員の身分は。
A 町職員を退職してもらうことになり、希望者は指定管理者である協会に移行する予定。
- 事業終了後の方向性
(1) 観光客誘致事業
(2) 観光農園運営事業
(3) 天塩砂丘を活用した雇用創出プロジェクト
(4) 観光牧場の整備事業
- 町では、雇用の継続が図れるよう取り組むとともに、観光協会のNPO法人化、温泉バスの運行、無農薬野菜作りの事業化を想定している。

総務文教常任委員会

調査年月日 平成22年10月27日

① ふるさと雇用再生対策事業
平成21年度からの3か年の計画で、道からの全額補助を受けて次の4事業で実施し、本年度は15名の雇用者のうち8名が新規雇用となつている。

とし「作業の負担軽減と生産の安定のため、農家の賛同をどう得られるか、見極めて推進していきたい」との説明に、委員からは「町が主導したから最後まで面倒をみる」とならないよう関係者と協議し、深入りする必要はないなどの意見があつた。

○今後の方向性
町から、東京の学校給食にスナガレイ、チカ、サケなど、天塩で獲れる魚介類を、今後は2万6千食を計画していることが説明された。TMRについてはアンケートだけでなく視察、研修、協議会、個別訪問を含め研究・検討をしていく考えであることが示された。

③てしお地域再生加速事業

道の地域づくり総合交付金の全額補助を受け、次の2事業を実施している。
(1)未利用資源であつた小型カレイ等を食材にした「農林水産物販路開拓・販売拡大事業」
(2)酪農の機械・設備投資の増加、高齢化、労働力不足の解消を図るため、建設業によるTMRセンターを利用した酪農支援モデルの実証実験を行う「新産業創出実証実験事業」

④地上デジタル放送化

住民への取組みでは「地上デジタル放送」受信相談会・説明会の開催や町独自の難視世帯調査を実施している状況の説明を受けた。

委員からは生活保護世帯以下の収入

の年金生活世帯への対策を考える必要性があるなどの意見が出された。